



先月から早くもインフルエンザが大流行し、年明けから大変な思いをされたご家族も多かったのではないのでしょうか。現在はやや消息気味ですが、そのうち B もきますので油断はできません。受験生がおられ落ち着かない日々をお過ごし親御さんもいらっしやるでしょう。寒い日々はまだ続きますが皆さんに温かい春がくることを祈ります！



保育士からのお知らせ



- ・ 2 月 3 日は節分です。病やわざわいのない年になるようにと願いを込めて“鬼は外！福はうち！”と元気に豆まきして下さいね。



2月のおすすめ絵本

未来ちゃん

著者 川島小鳥

春夏秋冬 1つ1つのシーンで
さまざまな表情を見せてくれる
写真集です。素直で純粋な子どもの



自然な姿・泣き顔・笑い顔・
どの1枚をとってもとても愛おしい存在、
生命力にあふれた存在です。

1日1日毎日成長をみせてくれることも達。
育児も大変ですがその時その場面を見逃すことなくお子さんと接し、
触れ合うことの大切さを感じ
この写真集を見て欲しいと願っています。

(保育士 森川 智恵子)

いけざわこどもクリニック感染症情報

【12月29日～1月25日現在】()は前月の人数

咽頭結膜炎 (アデノウイルス感染症)	45 (26)	RS ウイルス感染症	11 (29)
溶連菌感染症	17 (19)	突発性発疹	10 (10)
感染性胃腸炎	57 (278)	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0 (3)
水痘	11 (22)	ヘルパンギーナ	0 (2)
手足口病	0 (9)	インフルエンザ A 型	628 (149)

インフルエンザ A 型が大流行しています。ご家族全員がかかって入ること話もよく聞きますので、十分注意をお願いします。

(院長秘書 矢野耕治)



命の重さ

1000 床ある大病院の中、腎病棟・透析センターの奥にあるたった5つのベット。就職して始めて配属されたのは「腎 ICU」という小さなセンターでした。そこには緊急透析をしなければならない患者さんが入ります。緊急透析？と聞いてもよくわからない方も多いでしょう。看護師見習いの私も、当初どんな方が入るのか見当もつきません。しかし初出勤の日にもまるでドラマのような世界を目の当たりにし、怖くなりました。そこでは中毒の処置が多く、センターには自殺未遂の方が実に多く運ばれてくる場所だったので。

カルテには、生活が上手く行かず、農薬を飲んだり、また大量服薬したりとそれに至るまでの家族から聞いたエピソードが短編小説のように書かれていました。その頃、まだ家族の死さえ経験したことのない私は、就職した早々から何人ものご遺体と直面し、言葉も交わすことなく目の前で亡くなる命を前にとつともなく重い気持ちになりました。それまで過ごした自分の世界とはまるで違う医療の

世界、その入口の「腎 ICU」は、世の中も知らない 20 歳そこらの私には今思えば衝撃が強すぎました。

それから放射線科などガン末期の病棟に務めた後、友人に誘われ未熟児センターに配属を希望したのは、「違う世界に行きたい！」という願望かもしれません。子どもは大人を小さくしたのではなく、小児科は独特で全く違う世界、空間を持っています。何かを夢見た、少し浅はかな私を試すように新生児でも別の意味で過酷な勤務が待っていましたが、圧倒的に大人と違うのは「命の生まれる場所」というところ。現在は助かるという 500、600g の未熟児も、当時は順調に発達することは稀でいくつもの障害を抱え、また結局多くの児を見送りましたが、危険な状態の未熟児であってもそこには「生まれ来る命」の輝き、そして明るさが必ずどこかにありました。ガン末期の病棟で見送られる命、生命の灯火が消える瞬間に立ち会う日々は、情が移りやすい性格の私にとって精神的に辛く、長く関わった患者さんはまるで自分の家族が亡くなるような消失感を覚え、仕事中、涙が止まらず先輩に叱られることも。全てが懐かしい遠い思い出ですが、ガン病棟も、新生児も私にとって貴重な経験で「長い命、短い命」そして「人の人生」について常に考えさせられ、それは数十年経過した今も私の人生観に大きな影響を与えています。

イスラム国の邦人人質事件から 1 週間以上経過した今日本は解放にむけて息をのむような緊張した日々が続いています。遠い国で今まさに戦争の中にいる人々も、テロを起こす人々も、時計の針が刻む速度は世界中同じで、今この時代を生きる人間同士。大切に育てられた命のはず。暴力のない、お互いの人生を尊重し、残酷に人間を傷つけ合わない道を歩む方法はないのかと、安否を祈る毎日。

多くの命と共に、それぞれの人生があります。誰が、どんな道を進むとしても、そこに平和と自由があることを願ってやみません。

(文責 池澤 千恵子)

いけざわこどもクリニック予定表

- ・ 木曜・土曜午後から休診です。
- ・ 年末年始の急患は、電話にてご確認のうえ来院ください。(アイチケット予定も急に変わることがあります)
- ・ 不在、かかりつけ以外の方は、日赤・地域医療センターへお願いします。(時間外は紹介状なしで受診できます)
- ・ 60歳以上の方の付き添いの場合は電話での順番取り受け付けを8:30から致します!あくまでも順番とりですがご利用下さい。

2月 日	15日 熊本城マラソン大会 再春荘小児科医当直予定
	22日 地域医療センター当番 21~24時 再春荘小児科医当直予定
月	2、9、16、23日 午前2診予定
火	3、10日 午後診察終了後、会合予定
	24日 13時~14時半 院内研修の為、14時~15時のワクチン中止
水	11日 建国記念日 休診
	18日 午後診察終了後、勉強会参加
木 午後休診	5、12、19、26日 再春荘小児科医当直予定
	19日 ふれあい館健診
金	6日 再春荘小児科医当直予定
土 午後休診	7日 感染症G勉強会 再春荘小児科医当直予定
	21日 DT二混 接種日
	28日 役員会(東京)



お子様が一人で外へでたり、ドアに手をはさむ等の事故がありますので、待合室に子どもさんだけを置いて薬局に行かれる時は、
必ずスタッフにお声を掛けてください。



★HPのメール・アドレス訂正しました★

新しいアドレスは

ikezawakodomo0717@yahoo.co.jp

(医療相談はお受けできません)

保険証徹底確認!

ごく一部の方なのかもしれませんが、有効期限がきれてしまった保険証をお出しになられたり、変更されていても、「変わりません」と窓口には伝えられる方がおられます。受診時毎回確認を行っていますので、お手数かけますがなにとぞ、ご協力とご理解をいただきたいと思っております。



予防接種を受けられる方へお願い



- ☆ 予防接種を予約されている方は必ず問診票と母子手帳を持参して下さい。
*ワクチン時間は原則14時~15時までです。
曜日により16時まで行うことがあります。
携帯・インターネットワクチン予約をご覧ください。
- ☆ おたふく、水痘、Hib、肺炎球菌ワクチンの問診票は当院にあります。

*再春荘病院小児科医当直は池澤診察ではありません

夜間に再春荘病院を受診される時は電話(096-242-1000)にかけて対応可能かどうか確認してから行かれて下さい
再春荘病院小児科の先生が当直の時には、対応可能な事があります。(池澤診察ではありません)